

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

DXを実践していく事により、業務効率化が進み空き時間ができて、家事や育児の時間の確保をする。また仕事と家庭のバランスが良くなることにより地域活動やボランティア活動への参加を促す。さらに省エネ・創エネを推進することにより地域社会の持続的な発展に貢献していく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

| 三側面 (分野に☑) | SDGsに関する重点的な取組み | 指標 (更新時に向けた数値目標) |
|----------------------|--------------------------|---|
| ☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済 | DXとワークライフバランスの推進 | テレワーク等の業務効率化による家事や育児や自分の時間の増加させる。 テレワーク率 2023年度 40% →2026年度 50% |
| □ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済 | 社会貢献活動の推進 | 地域活動・ボランティア活動の参加を増やす。 地域活動・ボランティア活動の参加 2023年度 5日/年 →2026年度 10日/年 |
| ☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済 | エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの推進 | 省エネ機器に変えていく。また再生可能エネルギーの供給を増やす。 太陽光発電による電力使用 2023年度 10% →2026年度 20% |

「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

私たちは、電気設備業として省エネ・創エネ・蓄エネを提案・施工による顧客のエネルギーマネジメントに貢献する事により(持続可能な開発目標)を推進し、従業員・取引先・地域と連携し、地域社会の持続的な発展に貢献していきます。

「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

| 三側面 (分野に☑) | 前期のSDGsに関する重点的な取組み | 前期の指標 |
|----------------------|--|---|
| ☑ 環境 □ 社会 □ 経済 | 一般廃棄物・産業廃棄物の削減 | 一般廃棄物・産業廃棄物量(年間) 2020年2.4t→2023年1.8t |
| | 取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など) | 前期の指標に対する実績 |
| | 廃棄物の分別の細分化を実施した結果、リサイクル率の増加に伴い、廃棄物の削減につながった。当初目標まで届かなかったが、目標達成に最大限に取組んだ。 | 2023年 廃棄物量2.0t |
| 三側面 (分野に☑) | 前期のSDGsに関する重点的な取組み | 前期の指標 |
| ☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済 | 廃棄物の分別の細分化・リサイクルの推進 | 廃棄物分別 2020年4種類→2023年7種類 リサイクル率 2020年10%→2023年20% |
| | 取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など) | 前期の指標に対する実績 |
| | 廃棄物の分別の細分化を実施した結果リサイクル率が増加した。当初目標まで届かなかったが、目標達成に最大限に取組んだ。 | 2023年 分別種類 7種類 リサイクル率 15% |
| 三側面 (分野に☑) | 前期のSDGsに関する重点的な取組み | 前期の指標 |
| □ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済 | 働き方の見直しによる労働時間の短縮・テレワーク等の業務効率化による働き方改革の推進 | テレワーク率 2020年20%→2023年40% ノー残業日(毎週) 2020年週1日→2023年週3日 |
| | 取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など) | 前期の指標に対する実績 |
| | DXの推進により残業時間の減少・テレワーク率が増加した。当初目標まで届かなかったが、目標達成に最大限に取組んだ。 | 2023年 テレワーク率 40% ノー残業日 週2日 |

「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。